



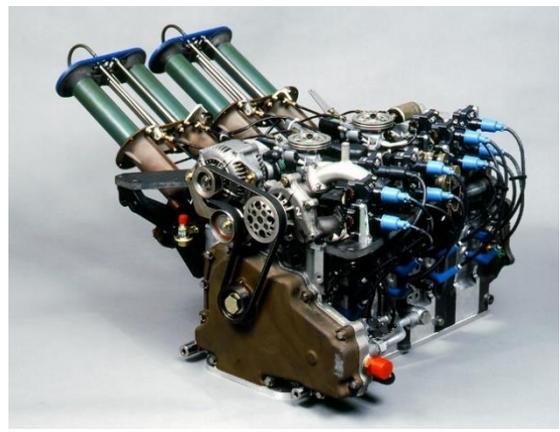
2023年11月7日

マツダ 787B が「2023 日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定

マツダ株式会社(以下、マツダ)の 4 ローターロータリーエンジン搭載グループ C カー「マツダ 787B」が、「2023 日本自動車殿堂^{*1} 歴史遺産車」に選定されました。マツダ車が「日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定されたのは、2003 年のコスモスポーツ、2019 年の初代ロードスターに続いて、今回が 3 回目となります。



ルマン 24 時間レースで日本車として初優勝したマツダ 787B



R26B 型 4 ローターロータリーエンジン

「日本自動車殿堂 歴史遺産車」とは、日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し、日本自動車殿堂に登録し、永く伝承するものです。このたびの選定にあたり、マツダ 787B は「世界最高峰の耐久レースであるルマン 24 時間レースで、純国産車及びロータリーエンジン車として初の総合優勝」、「飽くなき挑戦」を続け日本の技術を世界に知らしめた」ことが評価されました。表彰式は 11 月 14 日(火)に学士会館(東京都千代田区)にて行われます。

マツダ 787B は 1991 年の第 59 回ルマン 24 時間レースで日本車として、そしてロータリーエンジンで初めて総合優勝を成し遂げました。1970 年に始まったマツダのルマン挑戦は困難と苦難の連続でしたが、そこから培われた「飽くなき挑戦」の精神は人の力を信じ、どんな技術的困難にも立ち向かいマツダらしい価値を創造する組織風土となりました。「飽くなき挑戦」の象徴であるロータリーエンジンは今年 11 年ぶりにその機能を動力源から電動車の発電源へと姿を変えて復活しました。カーボンニュートラルなどの新しいモビリティの時代へ向け、新規開発された 8C 型ロータリーエンジンは「MAZDA MX-30 Rotary-EV」へ搭載され、航続距離に不安の無い電動車の新しい提案に活用されています。

マツダは、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

^{*1} 特定非営利法人 日本自動車殿堂 <https://www.jahfa.jp/>